



お知らせ
します。

2つの給付金。

平成26年4月から消費税率の引き上げに伴う、負担の影響を緩和するため、暫定的・臨時的措置として、昨年度に引き続き、給付金を支給します。平成27年度は、2つの給付金の支給要件に該当すれば、両方を受け取ることができます。

臨時福祉給付金

支給対象者：平成27年1月1日に国東市に住民登録がある方で、平成27年度の市民税が課税されていない方が対象です。ただし、課税されている方に扶養等されている方や生活保護の受給者などの場合は除きます。

支給額：1人につき 6,000円

申請方法：●給付対象の可能性のある方には、8月末までに、申請書等が送付されます。
●申請書の宣誓・同意事項を確認のうえ、必要事項を記入し、関係書類を添付して、期間内に返信用封筒での郵送または国東市役所福祉課か各総合支所の市民健康課・出張所に提出してください。

申請期間：平成27年9月1日から平成27年12月28日まで

子育て世帯臨時特例給付金

支給対象者：平成27年6月分の児童手当（特例給付を除く）を受給される方が対象です。

対象児童：支給対象者の平成27年6月分の児童手当対象となる児童

支給額：対象児童1人につき 3,000円

申請方法：平成27年度の児童手当現況届に同封の申請書に必要事項を記入して、国東市役所福祉課または各総合支所の市民健康課に期間内に提出してください。

申請期間：平成27年6月1日から平成27年11月30日まで

問合せ先：国東市 福祉課 ☎0978-72-5164

ご利用ください 障がい者相談員

障がいのある方やそのご家族などからの相談に応じて、必要な情報の提供（補装具、税金、年金、手当等）や障がい福祉サービスの利用（ホームヘルプ、グループホーム、地域活動支援センター、就労支援等）などについての支援を行います。

相談の秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

●身体障がい者相談員

氏名	電話番号	住所
清和 源氏	0978-82-0026 (FAX 82-0026)	〒872-1406 国見町櫛来3486-3
山本 勤	0978-77-0132	〒872-1651 国東町浜2-3778-1
松本 初男	0978-68-0976 (FAX 68-1331)	〒873-0412 武蔵町古市380
末広 満	0978-67-2023 (FAX 67-2023)	〒873-0231 安岐町下原1507-1
宇都宮和代	0978-67-1871 (FAX 67-1878)	〒873-0203 安岐町中園58-1

●知的障がい者相談員

氏名	電話番号	住所
松吉 鈴美	0978-74-0951 (FAX 74-0951)	〒873-0643 国東町富来浦2129
植田 洋子	0978-66-0006 (FAX 66-0006)	〒873-0351 安岐町朝来2902-1

●問合せ先 国東市 福祉課 障がい者支援係
☎0978-72-5164 FAX 0978-72-5171



▲委嘱状の様子

児童手当現況届の提出はお済みですか

6月以降の児童手当を受けるためには、現況届の提出が必要です。現況届とは毎年6月1日の状況を把握し、6月分以降の児童手当を受給する要件（児童の監督や保護、生計同一関係など）を満たしているかどうかを確認するためのものです。提出がない場合は手当が受けられなくなりますのでご注意ください。

子育て世帯特例給付金の申請も合わせてご確認ください。



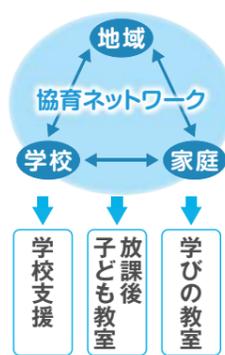
●提出先 福祉課 子育て支援係、各総合支所 地域市民健康課
●問合せ先 ☎0978-72-5164

教育の里だより

協育ネットワーク事業

発足から5年目を迎えて

国東市の協育ネットワーク事業は、少子化や核家族化、地域の高齢化など子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校や家庭、地域社会が連携して、地域総ぐるみで「協働」して子育てをしていく取り組みとして、平成23年度に誕生しました。



今回ご紹介するのは、小学校の「学びの教室」と中学校の「学び塾」です。学びの教室は、教職員を退職された方や保護者、地域の方などの指導で、放課後や休



▲武蔵東小の開始に向けての協議の様子



▲富来小での開講式の様子



▲小原小での指導の様子

日に学習習慣の定着と基礎・基本の再確認を図るため国語や算数などを学習しています。市内の小学校で3年生以上の児童を対象としており、それぞれの教室で特色ある取り組みを行っています。その成果が、大分県学力定着状況調査などで児童たちの学力向上に表れてきていると考えています。

そして、今年度から武蔵東小学校が学びの教室に取り組み始めたことにより、市内の

全小学校で実施されることになりました。学校や地域の方など関係者の皆さんの協力に感謝、感謝です。夏休みには「学びの教室」で学んだOBの高校生や中学校にも協力をお願いしようと思います。また、昨年度の2学期から始まった中学校「土曜学び塾」も、学校と指導者のご協力により今年度は7月からの開始となりました。「土曜学び塾」によって、現在学んでいる教科のつまずきや高校入試に向けての取り組みが早い段階からできるようになりました。今後、学校・家庭・地域の3者が連携し、地域の教育力を活かして、地域総ぐるみで子ども達への教育を行っていきます。

人間力を磨く場に

有志の先生が集って5周年

6月3日、アストくにさき3階会議室で、平成27年度「くにさき教師塾」の開塾式が開催され、約50名が参加しました。

くにさき教師塾は、地元の退職校長会を中心とした「くにさきの教育を創る会」が後輩育成を目的に平成23年度から始まりました。

当初は、学校運営や生徒指導など実践に直結する内容が多く、参加者の大半が教育関係者でした。その後、幅広い世代の関心を引く内容を模索し、書道家や冒険家、俳人など教育だけではなく多様な分野の講師を呼ぶようになりました。

平成27年度第1回目の講師は、地元のおおぞら病院から5年後の東京オリンピックを目指しているフェンシングの村上仁紀選手が、「フェンシングを通じて抱く夢とそこから見えてきた指導者像」と題して、競技の歴史やルール、オリンピックへ懸ける思い、憧れの指導者像を語りました。

昨年度開催された10回の講座には、延べ232人が参加していますが、今年度の参加者を増やすために、事務局では、さらに多種多様な講師を招く計画を立てています。

